第1号議案 2024 年 度 事 業 報 告 書

（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）
法人の名称 NPO法人 JECK

1. 事業活動概要

強化された組織基盤を活かしつつ、組織の更なる活性化と発展を図るため、以下の方針のもとに事業を推進した。

(1)ビジョンとミッションに沿った事業を展開すると共に、横浜市の組織基盤強化支援により会員の増加を受け、さらに事業の推進と組織の進展を図った。

(2) JECK の国際理解教育関連事業は世界に羽ばたく人材育成に貢献し、内外の評価が高い事業であることを念頭に、継続性の確保と更なる発展性を図ると共に、JECK キャリア支援事業、国際理解セミナーを実施した。

(3)キャリア支援事業として、立命館大学スタディツアーのノウハウを活かし、大学院生や学生の就活支援を基に、以下のスタディツアーを実施した。なお、JICA 基金活用事業の応募案件として JECK によるスタディツアーを国内とタイ国内において企画したが、採択に至らなかった。

（A） 立命館大学大学院生（留学生）を対象としたスタディツアー
（B） 立命館大学学生を対象としたスタディツアー
（C） 立命館大学はもとより横浜国大、慶応大、東工大、関東学院大、明治学院大などの学生を対象としたスタディツアー

(4)神奈川県 NPO 活動基盤づくり補助金募集案件に応募し、採択され、大学生、求人意欲の高い中小企業を対象に以下の事業を実施した。

(A)横浜国立大学における JECK 就活会議
(B)中小企業ものづくり調査

(5)JICA や自治体案件および独自の海外事業案件（エクアドル等）の獲得に向けて 積極的に挑戦した。

(A)大田区地域力応援基金助成（ステップアップ助成）案件に応募した。
(B)横浜市「ヨコハマ・エコ・スクール（YES）」の助成金獲得

(6)JICA や他団体（KIP、YNN、とつか区民活動センター、ほどがや、青葉など国際交流ラウンジ、大学サークルプロジェクト等）とともに、地域の人々が気軽に参加できる、多文化共生を育むイベントに参加すると共に、サロン事業を実施した。

(7)会員を対象とした創立記念講演会、イベントなどの事業は、参加者枠の発展的拡大を図り、国際理解、多文化共生をさらに推進した。

(8)JECK 会報 42 号及び 43 号を発行し、会員及び外部関係機関の関係者に配布すると共に、関東学院大学、明治学院大学、立命館大学学生に配布した。

(9)JECK では、ユーザーの個人情報や機密情報を安全に保護できる Web サイトにするために、URL を「https://www.jeck.jp」に変更した。

2 事業内容

(1) 国際理解教育関連事業

① 明治学院大学教育事業

・内　　容 国際理解教育
・日　　時 2024年9月～2025年1月
・場　　所 明治学院大学国際学部
・従事者人員 14人
・受益対象者 学生 53 人

② 立命館大学教育事業
・内　　容　国際理解教育
・日　　時　2024年5月～2025年1月
・場　　所　立命館大学
・従事者人員　5人
・受益対象者　学生　約50人

③ 授業研究会
・内　　容　学生による授業評価を受けて授業の改善に取り組む。
・日　　時　9 月 7 日　11:00～12:30
・場　　所　Zoom によるリモート開催
・従事者人員　10 人
・受益対象者　会員、学生

③ 国際理解セミナー事業
・内　　容　JECK 会員によるセミナーの実施
（ア）第 1 回　南極ってどんなところー聞いてみよう　歴史、自然、隊員の生活ー
講師：小林正幸会員、JICA 横浜後援
（イ）第 2 回　エクアドルー魅力ある自然と生活
講師：フレディ　アルミフォス理事、JICA 横浜、在日エクドル人協会
（ウ）第 3 回　南極観測隊－生活と観測の最前線
講師:小林正幸会員、YES 協働パートナー事業、
JICA 横浜、（公財）日本極地研究振興会後援
・日　　時　それぞれ 2024 年8月 2 日、12 月 21 日、2025 年 2 月 22 日
・場　　所　それぞれとつか区民活動センター、かながわ県民センター、とつか区民活動センター
・従事者人員　6名
・受益対象者　市民、会員併せて 31 名

（2）キャリア支援事業
① 立命館大学大学院　横浜・川崎スタディツアー2024
・内　　容　JDS 大学院留学生 9 名を対象とした 3 日間に渡るスタディツアー、
訪問した企業施設は7カ所である。さらに、オンラインによる事前及び事後講義を実施した。
・日　　時　9 月 4 日～9 月 6 日
・従事者人員　JECK 会員 9 名、国土交通省関東整備局職員 3 名
・受益対象者　大学院留学生　9 名

② 立命館大学　日本企業研究　横浜・川崎スタディツアー
・内　　容　日本企業研究（黒川清登教授担当）の履修学生 10 名を対象とした 3 日間に渡るスタディツアー、訪問した企業施設は 8 カ所である。さらに、オンラインによる事前及び事後講義を実施した。
・日　　時　9 月 9 日～9 月 11 日
・従事者人員　JECK 会員 9 名
・受益対象者　日本企業研究履修者　10 名

③－1 神奈川県政策局 NPO 活動基盤づくり補助金 1

・内　　容　神奈川県内の大学（横浜国大、明治学院大学等）及び立命館大学、東京大学等の日本人学生及び留学生を対象とした横浜・川崎のスタディツアー3 回実施、延べ 9 日間、訪問した企業施設延べ 22 カ所、オンラインによる事前、事後講義それぞれ 3 回を実施した。就活を考える会議開催（③－2 参照）、横浜・川崎、大田区内の中小企業訪問研修、活動に必要とする機材費。

日　　時　2024 年 9 月～2025 年 3 月 31 日の期間
2025 年 3 月 18 日（就活を考える会議開催）

従事者人員　会員約 30 名、その他約 10 名

受益対象者　30 名

③－2　神奈川県政策局 NPO 活動基盤づくり補助金2

・内　容　就活を考える会議（後援 JICA 横浜、YNU）
ファシリテーター：黒川清登副理事長

（ア）自分の将来を描く
講師：山川　隆氏（YUVEC 理事長）

（イ）学生の就活支援団体の視点における問題
講師：川村氏（neco.sun）

（ウ）人材流動化の問題
講師：宮島勇也氏（(株)Panasonic）

（エ）宇宙産業を支える企業の人材不足
講師：山口（オービタルエンジニアリング社長）

日　時　3 月 18 日（火）　14:00～17:00

従事者人員　2 人

受益者人員　会員、市民、学生約 20 名

（3）　国際協力・多文化共生をテーマとするイベント事業

①　エクアドル料理と交流の集い2024

・内　容　エクアドル料理教室とバンド演奏と交流
料理教室講師：Emi　Susana さん（エクアドル大使館）
アマチュアバンド演奏

・日　時　7 月 27 日
料理教室　10:30～12:00、交流の集い　12:00～14:00

・場　所　保土ヶ谷地域ケアプラザ

・従事者人員　3 人

・受益対象者　会員、市民等 15 人

②　やまとワールド国際フェスタ 2024

・内　容　出展ブースによる JECK の活動紹介と物品販売により JECK アクティビティを PR した。

・日　時　10 月 19 日　10:00～16:00

・従事者人員　　3 人

・受益対象者　多数

③　活動紹介展

・内　容　とつか区民活動センターの活動紹介展に応募し、採択された。活動内容を指定されたパネルにまとめて展示、次の 3 会場で実施された。

（ア）　Web 会場による活動紹介展（ 2024 年 10 月 1 日～2025 年 3 月 31 日
（イ）　戸塚会場（2024 年 11 月 19 日～12 月 2 日）
（ウ）　東戸塚会場（2025 年 1 月 15 日～1 月 21 日）
・日　時　上記に記載
・場　所　（ア）とつか区民活動センター　HP、（イ）戸塚区総合庁舎3階　区民広場
（ウ）西武東戸塚 S.C. 7階ファーストブリッジ
・従事者人員 延べ 4 人
・受益対象者　市民多数

④ とつか地域活動ミニフェスタ
・内　容　NPO 法人 JECK のミニブースにより来場者に活動を紹介
・日　時　1 月 19 日（火） 10:00～16:00
・場　所　とつか区民活動センター
・従事者人員　4 人
・受益対象者　市民約 30 人

⑤ 出展者交流会
・内　容　活動紹介展の振り返りと出展した他団体との交流
・日　時　2 月 16 日（日） 14:00～16:00
・場　所　とつか区民活動センター
・従事者人員　1 名
・受益対象者　出展者約40名

⑥ 創立記念講演会
・内　容　JECK 創立記念講演会
（ア） 多文化共生とネットワーキング開発
講師：小俣典之氏（YNN エクゼクティブプロデューサー）
（イ） 体験的国際協力論
講師：杉田伸樹氏（立命館大学特任教授、JECK 会員）
・日　時　1 月 26 日 13:30～16:30
・場　所　鶴見国際交流ラウンジ
・従事者人員　4 人
・受益対象者　会員、市民約 30 人（Zoom とのハイブリッド開催）

⑦ SDGs多文化 CITY フォーラムに参加
・内　　容　SDGs 多文化 CITY プロジェクト・JICA 横浜主催の
SDGs多文化 CITYフォーラムに参加
「大学生のための横浜スタディツアーの意義―現場を見て考える実務教育と
就活への橋渡し」
講師：黒川清登氏（立命館大学教授、JECK副理事長）
・日　　時　2024 年 2 月 15 日（土） 10:00～10：50
・場　　所　帆船日本丸第 1 会議室
・従事者人員　2 人
・受益対象者　県民、市民多数

法人名：NPO 法人 JECK

第 2 号議案　活　動　計　算　書

（2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで）　　（単位：円）

科目	前年度予算	実績（12 ヶ月間）			
	金額	金額	小計	合計	備　　考
Ⅰ経常収益					
１．受取会費	**121,000**		**89,000**		
正会員受取会費	120,000	87,000			3 千円　X29 人
賛助会員受取会費	1,000	2,000			1 千円×2 人
２．受取寄附金	**0**		**0**		
受取寄附金	10,000	0			
３．受取助成金等	**0**		**300,000**		
神奈川県補助金	0	300,000			NPO 活動基盤づくり
４．事業収益	**1,860,000**		**1,000,985**		
明治学院大学授業	300,000	300,000			秋学期
JICA 案件事業	1,250,000	0			
JDS 留学生ｽﾀﾃﾞｨﾂｱｰ	0	600,985			９月実施
立命館大学生ｽﾀﾃﾞｨﾂｱｰ	100,000	100,000			９月、２月実施
英会話教室収益	160,000	0			活動休止中
国際理解セミナー＊	50,000	0			＊雑収益 2,000 円
５．その他収益	**50,000**		**19,358**		
受取利息	0	158			ゆうちょ銀行利息
雑収益	50,000	19,200			ｴｸｱﾄﾞﾙ料理教室等
経常収益計	**2,041,000**			**1,409,343**	
Ⅱ経常費用					
１．事業費	**1,550,000**		**655,314**		
（１）人件費					
役員報酬	0	0			
給料手当	0	0			
法定福利費	0	0			
（２）その他経費					
講師料	280,000	169,000			明治学院大学講師
諸謝金	0	0			
旅費交通費	300,000	237,814			JDS 留学生宿泊費含む
賃借料	50,000	0			
諸会費	0	12,000			ｽﾀﾃﾞｨﾂｱｰ入館料
車両借上費	600,000	153,680			JDS ｽﾀﾃﾞｨﾂｱｰ
広報活動費	300,000	0			
通信運搬費	0	0			

消耗品費	0	0			
印刷製本費	0	10,620			ｽﾀﾃﾞｨﾂｱｰ講義見学資料
雑費	20,000	72,200			ｽﾀﾃﾞｨﾂｱｰ懇親会等
租税公課	0	0			
支払手数料	0	0			
２．管理費	**595,000**		**570,402**		
（１）人件費					
役員報酬	0	0			
給料手当	0	0			
法定福利費	0	0			
（２）その他経費					
講師料	0	66,822			NPO 活動基盤づくり
諸謝金	50,000	108,000			学生ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等
旅費交通費	150,000	81,113			
賃借料	20,000	6,740			神奈川県ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ等
諸会費	15,000	15,000			KIP, NGO 連絡会
車両借上費	0	0			
広報活動費	200,000	84,569			会報ﾁﾗｼ印刷、HP 管理
通信運搬費	100,000	91,605			ZOOM、会報送料等
消耗品費	50,000	92,717			WiFi ﾙｰﾀｰ、PC ﾓﾆﾀｰ等
印刷製本費	0	0			
雑費	0	19,341			ｴｸｱﾄﾞﾙ料理教室食材
租税公課	0	0			
支払手数料	10,000	4,495			銀行振込手数料
経常費用計	**2,145,000**			**728,156**	
Ⅲ経常外収益					
過年度損益修正益	0	9,000			2023 年度会費(3 人)
経常外収益計	0			**9,000**	
Ⅳ経常外費用					
経常外費用計	**0**			**0**	
当期正味財産増減額	**65,000**			**192,627**	
前期繰越正味財産額	**1,110,866**			**1,110,866**	
次期繰越正味財産額	**1,175,866**			**1,303,493**	次年度繰越

法人名：NPO 法人 JECK

貸借対照表

2025 年 3 月 31 日現在

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	1,312,493		
流動資産合計		1,312,493	
2.固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,312,493
Ⅱ 負債の部			
1.流動負債			
前受会費	9,000		
流動負債合計		9,000	
2.固定負債			
固定負債合計		9,000	
負債合計			0
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,110,866	
当期正味財産増減額		192,627	
正味財産合計			1,303,493
負債及び正味財産合計			1,312,493

法人名：NPO 法人 JECK

財産目録

2025 年 3 月 31 日現在

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
手許現金	0		
ゆうちょ銀行(旧)	0		
三井住友銀行(旧)	0		
ゆうちょ銀行(新)	1,312,493		
流動資産合計		1,312,493	
2.固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,312,493
Ⅱ　負債の部			
1.流動負債			
前受会費	9,000		
流動負債合計		9,000	
2.固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			9,000
正味財産			1,303,493

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日　2017 年 12 月 12 日最終改正　NPO 法人会計基準協議会）によっています。

2. 事業別損益の状況

事事業別損益の状況は以下の通りです。なお、JDS 留学生スタディツアー（9 月実施）の JECK 会員交通費 26,615 円及び立命館大学生等スタディツアー（9 月、2 月実施）の JECK 会員交通費 45,749 円について神奈川県 NPO 基盤づくり補助金を充当しています。

（単位：円）

科　　目	明治学院大学事業	JDS 留学生ｽﾀﾃﾞｨﾂｱｰ	立命館大学生等ｽﾀﾃﾞｨﾂｱｰ	**事業部門計**	管理部門	**合計**
Ⅰ経常収益						
1.受取会費				**0**	89,000	**89,000**
2.受取寄付金				**0**	0	**0**
3.受取助成金等				**0**	300,000	**300,000**
4.事業収益	300,000	600,985	100,000	**1,000,985**	0	**1,000,985**
5.その他収益			0	**0**	19,358	**19,358**
経常収益計	**300,000**	**600,985**	**100,000**	**1,000,985**	**408,358**	**1,409,343**
Ⅱ経常費用						
（1）人件費						
役員報酬						**0**
給料手当						**0**
法定福利費						**0**
人件費計	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**
（2）その他経費						
講師料	169,000	0	0	**169,000**	66,822	**169,000**
諸謝金				**0**	108,000	**108,000**
旅費交通費	23,520	160,669	53,625	**237,814**	81,113	**318,927**
賃借料	0	0	0	**0**	6,740	**6,740**
諸会費	0	4,500	7500	**12,000**	15,000	**27,000**
車両借上費	0	153,680	0	**153,680**	0	**153,680**
広報活動費				**0**	84,569	**84,569**
通信運搬費				**0**	91,605	**91,605**
消耗品費				**0**	92,717	**10,117**
印刷製本費	0	4,940	5,680	**10,620**	0	**10,620**

雑費	0	42,500	29,700	72,200	19,341	91,541
租税公課				0	0	0
支払手数料				0	4,495	4,495
その他経費計	192,520	366,289	96,505	655,314	570,402	1,225,716
経常費用計	192,520	366,289	96,505	655,314	570,402	1,225,716
当期経常増減額	107,480	234,696	3,495	345,671	△162,044	183,627

3.　使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。３０万円は神奈川県との間で合意された収支予算書の項目に沿って支出されました。

（単位：円）

内　　容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備　　考
公的補助金 (神奈川県 NPO 基盤づくり補助金)	0	300,000	300,000	0	大田区内ものづくり調査、横浜国大就活会議等に使用
合　　計	0	300,000	300,000	0	

第3号議案 2025 年 度 事 業 計 画 書

（2025年４月１日から 2026年３月 31 日まで）
法人の名称 NPO法人 JECK

1. 事業活動方針

強化された組織基盤を活かしつつ、組織の更なる活性化と発展を図るため、以下の方針のもとに事業を推進する。

(1)ビジョンとミッションに沿った事業を展開すると共に、横浜市の組織基盤強化支援による会員の増加を受け、今後さらに事業の推進と組織の進展を図る。

(2) JECK の国際理解教育関連事業が世界に羽ばたく人材育成に貢献し、かつ内外の評価が高い事業であることを念頭に、継続性の確保と更なる発展を図る。

(3)JICA 基金活用事業案件の獲得に向けてJECKとして検討していく。

(4)就活の早期化と留学生の就職希望者の増加を受け、就活サポートを目的として JECK 横浜・川崎スタディツアーを実施する。

(5)川崎市に隣接する大田区内の中小企業との連携を視野に入れ、地域力応援基金助成金制度（ステップアップ助成）に応募し、中小企業の技術や人材支援を JICA や他団体（YNU、立命館大学、YUVEC、neco.sun、KIKCafe 等）と連携して行う。

(6)JICA や他団体（とつか区民活動センター、ほどがや、青葉など国際交流ラウンジ、大学サークルプロジェクト等）とともに、地域の人々が気軽に参加し、多文化共生を育むことができるイベントやサロン事業を実施していく。

(7) JICA案件（中小企業・SDGsビジネス支援事業）および独自の海外事業案件（エクアドル等）の獲得に向けて 積極的に挑戦する。

(8) 会員を対象とした創立記念講演会、フォーラム、イベントなどの事業により、参加者枠の発展的拡大を図り、国際理解、多文化共生をさらに推進する。

2 事業内容

(1) JICA 基金活用事業（応募）

・内　　容 JECK として検討
・日　　時 2025年５月～2026年3月
・従事者人員 延べ20人
・受益対象者 未定

(2) 国際理解教育関連事業

① 関東学院大学経済学部教育事業

・内　　容 国際理解教育、黒川副理事長（立命館大学教授）が開発経済学 I,II の非常勤講師となる。
・日　　時 2025 年４月から 2026 年１月まで
・場　　所 金沢八景キャンパス
・従事者人員 3-4 人（ゲストスピーカー）
・受益対象者 学生

② 明治学院大学教育事業

・内　　容 国際理解教育
・日　　時 2025年9月～2026年1月

・場　　所　明治学院大学国際学部
・従事者人員　14人
・受益対象者　学生　約100人

③　立命館大学教育事業
・内　　容　国際理解教育
・日　　時　2025年5月～2026年1月
・場　　所　立命館大学
・従事者人員　3－4人（ゲストスピーカー）
・受益対象者　学生　約50人

④　国際理解セミナー事業
・内　　容　JECK 会員による「世界の国々を知ろう」をテーマとして）
・日　　時　未定
・場　　所　未定
・従事者人員　10名
・受益対象者　県民、市民

⑤　SDGs多文化 CITY フォーラム
・内　　容　国際理解教育
・日　　時　未定
・場　　所　未定
・従事者人員　数名
・受益対象者　県民、市民多数

（3）スタディツアー
①立命館大学大学院留学生（JDS）を対象としたツアー
・内　　容　京浜地区にある企業や施設研修
・日　　時　2025年9月 11～13 日
・場　　所　京浜地区にある企業や施設
・従事者人員　延べ10人
・受益対象者　立命館大学留学生　24人及び会員

②日本人学生を対象としたツアー実施
・内　　容　京浜地区にある企業や施設研修
・日　　時　2025 年9月
・場　　所　京浜地区にある企業や施設
・従事者人員　延べ10人
・受益対象者　学生　10～20 人及び会員

（4）　多文化共生を育む国際協力イベント事業
①　サロンを利用した多文化交流
・内　　容　サロンの活用、および、料理を作りながら、人々の暮らしを知る
・日　　時　2025年6月より週2～3日
・従事者人員　延べ6人／週
・受益対象者　会員及び地域の人たち

（5） JICA 国際協力に基づく事業

① 中小企業・SDGs ビジネス支援事業案件準備調査

・内　　容　海外産業振興に資する JICA 案件獲得のための準備調査
・日　　時　2025年4月1日～2026年３月31日
・場　　所　横浜市中央区新港2－3－1　JICA 横浜センター
・従事者人員　5～10人
・受益対象者　JICA 国際協力対象国および中小企業（海外進出）

② エクアドル関連事業

・内　　容　対エクアドル JICA 案件形成を念頭に置いた開発事業の準備
・日　　時　2025年4月1日～2026年３月31日
・場　　所　横浜市中央区新港2－3－1　JICA 横浜センター
・従事者人員　3～6人
・受益対象者　エクアドル国

）JECK イベント及び活動

①創立記念講演会

・内　　容　講師候補　澁田氏、木村氏
・日　　時　2026年１月24日（土）
・場　　所　未定
・従事者人員　2～3 人
・受益対象者　地域の人たち

② やまとワールドフェスタ

・内　　容　大和市で開かれる予定のフェスタに JECK 事業活動の紹介を目的として参画
・日　　時　未定
・場　　所　大和駅東側周辺広場
・従事者人員　2～3人
・受益対象者　県民、会員他

③ とつか区民活動センターにおける JECK 事業活動紹介

・内　　容　とつか区民活動センターにおける JECK 事業活動紹介
・日　　時　2025年 10月　～　2026年３月
・場　　所　とつか区民活動センター
・従事者人員　2～3人／月
・受益対象者　市民、会員他

第4号議案　2025年度活動予算書

（2025 年 4 月 1 日から 2026年 3 月 31 日まで）
法人名:NPO 法人 JECK

（単位：円）

科目	2024 年度	予　算　金　額			備考
	実績	予算	小計	合計	
Ⅰ 経常収益					
1.受取会費	**89,000**		**122,000**		
正会員受取会費	87,000	120,000			3,000 円×40 人
賛助会員受取会費	2,000	2,000			
2.受取寄附金	**0**	0	**0**		
受取寄附金	0	0			
3.受取助成金等	**300,000**	0	**400,000**		
神奈川県補助金	300,000	0			
大田区ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ助成（応募）		400,000			採択の場合 8 月から支出
4.事業収益	**1,000,985**		**2,250,000**		
明治学院大学授業	300,000	300,000			
JICA 基金（応募）	0	1,000,000			採択された場合、2025 年 11 月から 2026 年 10 月まで
JDS 留学生ｽﾀﾃﾞｨﾂｱｰ（英語）	600,985	800,000			
立命館大学等ｽﾀﾃﾞｨﾂｱｰ（日本語）	100,000	100,000			9 月と 2 月に予定
多文化共生事業（国際理解ｾﾐﾅｰ、ｻﾛﾝ活用事業）	0	50,000			ｴｸｱﾄﾞﾙ料理教室の売上等
5.その他収益	**19,358**	0			
受取利息	158	0			
雑収益	19,200	0			
経常収益計	**1,409,343**			**2,772,000**	
Ⅱ 経常費用					
1 事業費	**655,314**		**889,000**		
(1)人件費					
役員報酬	0	0			
給料手当	0	0			
法定福利費	0	0			
(2)その他経費					
講師料	169,000	169,000			明治学院大学

諸謝金	0	0			
旅費交通費	237,814	300,000			
賃借料	0				
諸会費	1,200	20,000			
車両借上費	153,860	200,000			JDS ｽﾀﾃﾞｨﾂｱｰ
広報活動費	0	100,000			
通信運搬費	0	0			
消耗品費	0	0			
印刷製本費	10,620	20,000			
雑費	72,200	80,000			
租税公課	0	0			
支払手数料	0	0			
2 管理費	**570,402**		**650,000**		
(1)人件費	0		0		
役員報酬	0	0			
給料手当	0	0			
法定福利費	0	0			
(2)その他経費					
講師料	66,822	80,000			中小企業調査等
諸謝金	108,000	100,000			講演時の謝金
旅費交通費	81,113	100,000			会議等参加
賃借料	6,740	20,000			会場費
諸会費	15,000	20,000			KIP 他
車両借上費	0	0			
広報活動費	84,569	100,000			会報印刷/HP
通信運搬費	90,205	100,000			Zoom 等
消耗品費	92,717	100,000			
印刷製本費	0	0			
雑費	19,341	20,000			食材
租税公課	1,400	0			印紙など
支払手数料	4,495	10,000			送金手数料
経常費用計	**728,156**			**1,539,000**	
Ⅲ経常外収益					
過年度損益修正益	9,000				
経常外収益計	**9,000**			**0**	
Ⅳ経常外費用					
過年度損益修正益	0				
経常外費用計	**0**			**0**	

当期正味財産増減額	192,627			1,233,000	
前期繰越正味財産額	1,110,866			1,303,493	
次期繰越正味財産額	1,303,493			2,536,493	次年度繰越